

認知症疾患医療センター

センター通信

【認知症とは？】

副センター長 園原 和樹 医師

【認知症とは？】

壹. 認知症は「認知できている病気」なのか？

みなさんが生活習慣病として名前を耳にする病気として高血圧や糖尿病があります。高血圧は「血圧が高くなる病気」であり、糖尿病は「糖が尿に出てしまう病気」となります。それでは、認知症とは何でしょうか。認知症は「認知できている病気」でよいのでしょうか？

いえいえ、違います。

認知症は「認知機能が低下した病気」です。

では何故、認知症は認知症と呼ばれるようになったのでしょうか？ 以前、認知症は痴呆症と呼ばれていました。痴呆症から用語の変更をする際に、認知症の予備軍を意味する軽度認知機能障害という病名が既に存在したため、痴呆症から認知症へと名称変更がなされました。



貳. 認知症とは？

認知症とは「後天的な脳の障害により、いったん正常に発達した認知機能が低下し、日常生活や社会生活に支障を生じた状態」と定義されます。

認知機能が低下した状態を認知機能障害と言いますが、そもそも認知機能とはいったい何でしょうか？ 認知機能とは「感覚器官を通じて自分の外にある世界（外界）について得られた情報から、情報分析と状況判断を通じて外界を認識し、外界の変化に対応して物事を実行にうつす力」のことであり、認知機能障害とは「外界を正しく認識することが困難となった結果、外界の変化に対して適切に対応することができない状態」と定義することができます。

参. 認知症の診断基準

現在の日本には、認知症に関する診断基準が複数存在します。認知症の診断基準のひとつである DSM-5 (Diagnostic and Statistical Manual of Mental Disorders, DSM) によると、認知症は大神経認知障害に該当するため、以下にその診断基準を示します。

※DSM-5における大神経認知障害（認知症）の診断基準について

1. 1つ以上の認知領域（複雑性注意、遂行機能、学習および記憶、言語、知覚-運動、社会的認知）において、以前の水準から有意な機能低下を認める。
2. 毎日の活動において、認知欠損が自立を阻害する。
3. その認知欠損は、せん妄の状況でのみ起こるものではない
4. その認知欠損は、他の精神疾患によってうまく説明されない。

一般的に認知症 = 物忘れのイメージが強いのと思われませんが、認知症の中には物忘れのない認知症も存在します。また、以前の認知症の診断基準では記憶障害が必須条件でしたが、DSM-5による診断基準では中心となる症状が記憶障害から認知機能の低下（認知機能障害）へと変更されています。

ご不明な点がございましたら

お気軽にお問い合わせください。





活動報告

先日、塩尻市の北小野上田健康クラブ様にお邪魔して、「認知症とその予防」についてお話をさせて頂きました。塩尻市で最も歴史のあるコミュニティとお聞きしており、コロナに負けない活動をされているようです。活動の様子は市民タイムスさんが取材され、6月29日に掲載されています。もし良かったら一度見てみてください。

地域医療連携室から

社会福祉士 若林 理加

私たちが生活をしていく上で、利用できる制度などはどんな内容のものがどの位の数あるでしょうか。国が定めているもの、県が定めているもの、市町村独自のもの・・・沢山あります。住み慣れた自宅で暮らせなくなった時、自宅以外の生活の場所はどのくらいあるのでしょうか。こういった、多くは暮らしにまつわる部分に関して、患者さまやご家族にご案内をしたり、お手伝いをさせていただいています。

そのほかに、当院では相談員が入退院前の受け入れに関する対応、情報提供書の管理、他院受診予約の対応、退院支援、入院・外来での相談対応、外部との連絡調整などを行っています。人数が多くないため、様々な他の部署のスタッフに助けをもらいながら、患者さまやご家族さま、多くの医療機関・事務所の方々と関わらせていただいています。

今般のコロナウイルス感染症の予防策が当初はなんとも不思議なデマのようなものが沢山ネット上で拡散されたように、現在は情報過多の時代と言われ、インターネットの普及に伴い、欲しい情報は簡単に入手できるようになった反面、正確さ是不透明なものも多く見受けられるようになりました。

書籍で調べたり、ネットを活用したり、直接相手先に確認をしたり、1つの内容に対して、複数の視点を持ち、できるだけ正確な情報を、適切な言葉でお伝えすることを心掛けています(が、至らない点もあり、みなさんにはお時間を頂くことも多々あります)。

「この相談はここで良いのかわからないのだけど・・・」

と病院の内外を問わず、そんな話出しから始まる相談を受けることが多々あります。

よろず相談所のようにありますが、内容をお伺いして、私たちが対応できることと、他部署、あるいは他機関へ対応をお願いしていく事を振り分けて、それぞれの所へお繋ぎする役目もあります。私たちが先導する、のではなく、道具を携えて一緒に迷子になった出口を探そう、というイメージが正しいかもしれません。

どんなことでも気になることや聞いてみたいことなどがございましたら、お気軽にお声がけください



医療法人社団 敬仁会 桔梗ヶ原病院
〒399-6461 長野県塩尻市宗賀 1295
電話番号 : 0263-54-0012
F A X : 0263-52-9315

桔梗ヶ原病院
認知症疾患医療センター
直通電話番号 : 0263-54-7880
F A X : 0263-54-7881
Eメールアドレス : geriatric-medicine@keijin-kai.jp